

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」 長野駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に合わせてスペースを変更し、活動しやすい環境になるよう配慮しています。	より集中しやすい環境となるようこれからも配慮してまいります。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされているよりも多く指導員を配置しよりよい支援体制を確保しております	今後も、安心・安全な環境確保の為に、職員の適正配置を継続致します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		視覚掲示物を有効活用し、活動予定をイラストや写真、文字などで表し、視覚的に伝わりやすいように工夫しております。・教室内に段差はなく、バリアフリーとなっております。	お子様が活動しやすいように、それぞれのお子様の特性や様子に合わせて配慮をお行い、構造化することで自身で行動へと移っていけるよう対応してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎朝清掃を丁寧に行っております。常時換気も行い、活動中に使用したものは活動後に消毒しております。	使用した玩具・教材の消毒に加え、お子様の手が触れやすいところも消毒を行い清潔で心地よい空間にしてまいります。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日ごろから職員間の情報共有を徹底しております。定期的なミーティングや、随時行事の計画、事前準備、事後反省を行い、今後の業務改善に努めております。	日ごろの情報共有のみならず、職員間で支援のねらい・内容など確認をしながら、お子様の発達支援に取り組んでまいります。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様アンケートを基に、教室運営の在り方についての会議を開き、今後の改善点を職員で徹底し、改善に努めていきます。	保護者様が事業所へ意見をしやすい工夫について検討し、対応してまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ等を通じて、情報開示を行うとともに、教室内の目に留まりやすいところに集計したアンケート結果を掲示し、保護者様や利用者様がいつでも見ることができるよう工夫しています。	保護者様向け評価表の結果を踏まえた上で、事業所内で評価会を実施し、全職員が内容を意識して今後の活動に取り組んでいけるよう努めてまいります。

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	事業所改善につながるよう、今後行えるように努めてまいります。	第三者による外部評価につきましては、準備中になります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	長野県・長野市の虐待防止研修を始め、様々な研修にも参加し、職員の資質向上に努めております。毎月、東京の発達支援研究所主催の研修に参加しております。	今後も、様々な分野の研修に積極的に参加する機会を設け、研修内容を取り入れてまいります。教室内での伝達研修を行い、全職員の資質向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○	毎回の支援後のフィードバックや電話等で日頃より保護者様と連絡を密に取り合い、保護者様のニーズを把握できるように努めております。また、ご家庭の様子、園の様子の情報共有、今後の事業所での取り組み等を検討するために、保護者様と職員とで面談を行うことで、お子様の全体的な姿を捉えるよう努めております。	アセスメントを行う際には、事業所内での姿だけでなく、園やご家庭での姿も大切に、アセスメントを作成してまいります。そのアセスメントを元に、保護者様のニーズを客観的に捉えた上で、お子様の現在の発達段階と困り感と得意な事を見極めた上で、支援計画を事業所内支援者会議で検討し、計画を作っております。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	「きらり」のアセスメントツールを使用しています。	今後も同様にアセスメントツールを使用し、対応してまいります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○	児童発達支援ガイドラインに基づき、お子さんの成長発達段階に合わせた計画を具体的に提示しております。家族支援として、事業所内相談支援や地域支援としてお子さんの在籍の園と情報共有を必要に応じて設定しています	今後も、児童発達支援ガイドラインを遵守し、お子さんの心身共に健やかな成長発達に沿った支援の設定を行えるよう、丁寧なアセスメントを行い、事業所内支援者会議等で全職員の意見を交えながら支援内容を設定できるよう、取り組んでまいります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	支援計画を全職員が把握できるよう、事業所内で共有をし、計画に沿った支援となるよう取り組んでいます。	今後も事業所内支援者会議で支援の方向性をすり合わせて、計画に沿った支援に取り組んでまいります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	担当指導員を中心に、支援計画に沿って話し合いを行う機会を設けております。	今後も、職員全体で活動プログラムの確認を行い、様々な角度からの視点を持って活動プログラムを立案してまいります。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	複数の職員の意見を取り入れながら、様々な研修から学んだことを取り入れ、活動プロ	今後も、複数の職員の意見や研修で学んだ事を取り入れることで固定化を防ぎ様々なプロ

				グラムが固定化されないよう工夫しております。	ラムになるよう取り組んでまいります。	
	①⑥	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	○	お子さんの状況に合わせて、集団での活動や、個別での活動を組み合わせながら、支援計画を作成しております。	今後もお子さんの状況に合わせて、個別活動や集団活動を織り交ぜていけるよう、工夫してまいります。	
	①⑦	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	朝ミーティングを行い、前日の情報共有や当日の活動内容の確認を徹底しております。	今後も、情報共有や活動内容の確認を密に行い、全職員が把握していただけるよう行っております。	
	①⑧	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○	終礼時にミーティングを行い、支援終了後に、取り組んだ支援について、気づいた点の共有を行っております。	今後も、職員間で支援後の情報共有を行い、成長発達の支援内容に活かしてまいります。	
	①⑨	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	所定の記録サイトに記録を行い、どの職員も閲覧し振り返りができる機会となるように管理しております。	今後も、個別支援計画に沿った支援記録を大切にを行い、今後の支援に役立ててまいります。	
	②⑩	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	6か月に1回モニタリングを実施し、児童発達支援計画の見直しの必要性を見直し、次の発達段階に沿った計画作成に取り組んでおります。	今後も、お子さんの成長に合わせて、児童発達支援計画の見直しを行い、発達段階に沿った計画となるよう取り組んでまいります。	
関係機関や保護者との連携	②⑪	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	全職員で担当者会議を行い、児童発達支援管理責任者又は担当職員が参画しております。	今後も同様に取り組んでまいります。	
	②⑫	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	必要に応じて、市役所等へ出向いたり、電話連絡したりして連携を図っております。	情報共有を行い、支援の方向を同じくして連携を大切に取組んでまいります。	
	②⑬	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	該当者なし	該当者なし
	②⑭	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—	該当者なし	該当者なし
	②⑮	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、園訪問や支援近況報告書を用いて情報提供できる体制を整えております。	今後も、入園先へ丁寧な情報提供を行い、お子さんが安心して入園していけるよう、連携を行っております。

	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援者会議に参加し、丁寧な情報提供を行い、相互理解が深まるよう取り組んでおります。	今後も、就学先へ丁寧な情報提供を行い、お子様が安心して進学していけるよう、連携を行ってまいります。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児発管を中心に関係機関との連携を行い、各研修へ参加しております。	今後も各関係機関との連携を大切にしていきながら、研修へも積極的に参加してまいります。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		地域の保育園との交流を検討中となっております。	地域の保育園との交流を検討中となっております。
	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		子ども部会に積極的に参加しております。	今後も機会があれば、参加してまいります。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃から保護者様とお子さんの状況についてフィードバックの機会に情報共有を行っております。ご依頼時や必要がある時に事業所内相談支援で相談をお受けしております。	今後も情報共有を行い、お子さんの支援について、発達の様子を共有し、共に発達をサポートしてまいります。また、相談事がある時にはすみやかに対応してまいります。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		今年度は3月に開催予定で、只今準備中になります。	開催時期や頻度について、今後の課題とし、保護者様のニーズに対応していけるよう努めてまいります。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に詳しく説明をし、体制が変わることがある時にはその都度説明を行っております。	職員間で内容の確認をし、保護者様からの質問には随時対応していけるように致します。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画の説明を丁寧に行い、同意を得ております。その際には、支援のねらいが伝わりやすいように説明を心がけております。	支援のねらいがどこにあるのかということが伝わるように、保護者様の立場に立って説明を心がけるようにしてまいります。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談支援事業としても、なげない時にも相談・助言を行っております。	個別相談をお受けできることを丁寧に周知していき相談しやすい環境作りを行ってまいります。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者様同士が情報を得たり、気分転換ができたりするよう「ママカフェ」「保護者会」を開催しております。	保護者様同士での関りの機会を今後も設けてまいります。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者様からやお子様からの相談依頼に対して、お話を伺う機会を設けて対応を行っております。	相談をしやすいように、保護者様やお子さんと話をする機会について周知を大切にしております。

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		教室の保護者ラインや、インスタグラムやホームページを通じて発信しております。	今後もインスタグラムやホームページ・お便りを通じて発信を行ってまいります。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫にて保管しています。	今後も、個人情報は鍵付き書庫に保管してまいります。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		伝わりやすい方法（見える化・書面伝達・ライン伝達等）を確認していきながら、対応しております。	ケースに合わせて、柔軟な対応を心がけていきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	月に数回イベントを開催し、無料で見学・体験できる機会を設けています。	今度も地域の方に参加していただきやすいよう取り組んでまいります。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し、周知と訓練を実施してきました。	今後も、年度始めに、防災訓練計画を立て実施してまいります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		1カ月に一度、防災訓練を実施しております。利用者様、保護者様にも参加していただき実施しております。	今後も、年度始めに、防災訓練計画を立て、毎月防災訓練を実施してまいります。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		支援者会議・事業所内モニタリング・アセスメント時に確認を行っております。	今後も、受給者証更新の支援者会議や事業所内のモニタリング時に確認を行い情報の更新を行ってまいります。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの有無について確認を行っております。飲食物の提供は行っておりませんが、アレルギーの把握をしております。	今後も同様に対応してまいります。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、情報を職員間で共有しております。	事例を知ることで、発生の防止に繋がっていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		長野県・長野市の虐待防止研修を受講しております。また、事業所内でも伝達研や虐待防止委員会主催の研修を行っております。	今後も、県や市が開催する虐待研修に積極的に参加し、そこで得た情報を伝達したり、虐待防止委員会主催の事業所内虐待防止研修を開催してまいります。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		想定される状況について、計画書に記載し、保護者様へ説明を行っております。	今後も計画書への記載を行い、緊急時の対応について事前説明を行っていくようにいたします。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」長野駅前校 保護者等数（児童数）：9人 回収数：9件 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1	0	0	やや閉鎖感はあるが活動には支障がない（1名）。	活動に合わせてスペースを十分に確保できるように工夫してまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	1		
	⑨	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	5		個別療育の為、機会をうかがいながら保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流がもてるよう検討してまいります。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	0		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	3	1	1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	0	0	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	2	2		2023年度保護者会（：2024年3月開催予定）の時に保護者交流会を予定中。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	0	0	2		利用開始間もない保護者様との相談支援サポートは、利用開始早々に個別面談の機会をもっていけるよう対応してまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	0	0	1		自己評価結果をホームページにて開示開始したところで、きりりのビジネスラインで周知致します。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8	0	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	0	0	0		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	0	0	0		
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	9	0	0	0		

満足度	②	事業所の支援に満足しているか	9	0	0	0	これからもよろしく お願い致します (保護者様)。	←ありがとうございます。 これからも真摯に努め てまいります。
-----	---	----------------	---	---	---	---	---------------------------------	---------------------------------------

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。